

受験番号:29IPCN002

【問1】

【書類名】特許請求の範囲

【請求項1】

検出目標を感知し、かつ検出結果に基づいて制御信号を出力するための感知モジュールと、前記感知モジュールにより出力された制御信号に基づいて、異なる出力端により、少なくとも二つの照明信号の送信をそれぞれ制御するための制御モジュールと、を有し、

前記照明信号の送信は、以下の規則、

前記感知モジュールにより制御信号が出力される場合、少なくとも二つの前記照明信号を同時に送信し、及び、

前記感知モジュールにより制御信号が出力されていない場合、前記照明信号の少なくとも一つは、前記制御モジュールにより出力されず、かつ、出力された複数の前記照明信号の配列は、前回の前記感知モジュールにより制御信号が出力されていない場合に出力された複数の前記照明信号の配列とは異なるという規則に基づかなければならない、ことを特徴とする照明システム。

【請求項2】

前記制御モジュールは、

その入力端により前記感知モジュールにより出力された制御信号を受信し、その出力端により前記照明信号を出力するためのマイクロプログラムコントローラと、

前記マイクロプログラムコントローラを格納し、前記感知モジュールにより出力された制御信号に基づいて、前記照明信号のプログラムを制御するためのメモリと、を有する、ことを特徴とする請求項1に記載の照明システム。

【問2】

【背景技術】

排出規制が高度化されることに伴い、より多くのV型エンジンは、アクティブ型オイルセパレータを採用して排出ニーズを満たすようになっている。アクティブ型オイルセパレータを採用したV型エンジンについて、コンパクトな構成にするために、オイルセパレータをV型夾角内に配置することは、非常によい選択である。しかしながら、既存のアクティブ型オイルセパレータのベースは、いずれも側面固定方式を採用しており、ボルトによりエンジン機体の側面に固定され、しかもオイルパイプにより駆動油に外部接続するようにオイルセパレータ駆動装置に接続されている。このような構造のオイルセパレータのアセンブリは、エンジンの外側に配置することが好ましく、V型エンジンの内部に配置することは適切ではない。また、オイルセパレータの駆動油はいずれも、一本のオイルパイプにより接続され、コストが高く、かつ美観に影響し、不具合が生じてオイルが漏れるリスクも大きくなってしまふ。

**【問3】**

**【発明を実施するための形態】**

図1は、本発明のFPC無電解ニッケル置換金めっきの方法のプロセス図である。本発明の目的、技術的解決手段、及び効果をさらにはっきりと、明確にするために、以下に図面を参照し、実例を挙げて本発明をさらに詳細に説明する。

図1を参照されたい。図1は、本発明のFPC無電解ニッケル置換金めっきの方法のプロセス図である。図に示すように、前記FPC無電解ニッケル置換金めっきの方法は、S1、FPCをニッケルめっき槽及び金めっき槽内に浸漬し、FPCに1回目のニッケル置換金めっき処理を行うステップと、S2、FPCを取り出し、非置換金めっき領域又は金層の厚みが既に要求を満たすランドをドライフィルムで覆うステップと、S3、ドライフィルムを覆ったFPCを現像処理するステップと、S4、処理後のFPCを金めっき槽内に再び浸漬し、2回目の置換金めっき処理を行い、かつ必要な置換金めっきの厚み要求に基づいて、置換金めっきの時間を調整するステップと、を含む。